

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

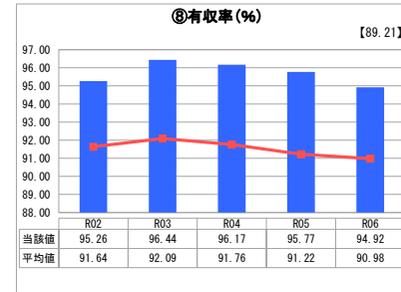
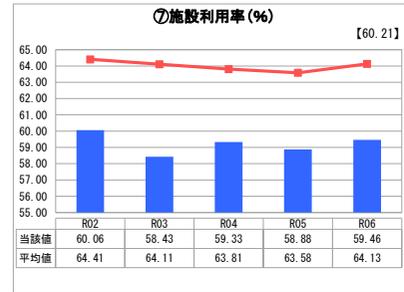
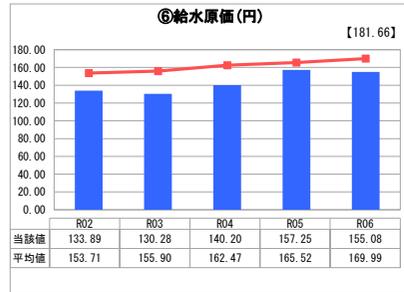
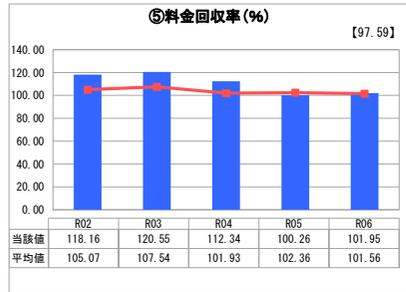
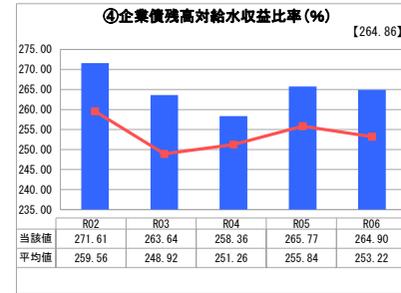
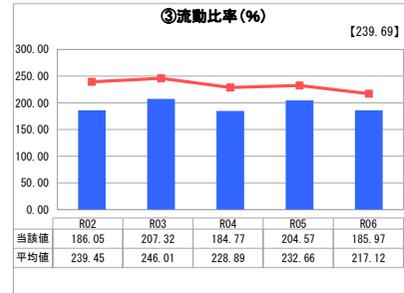
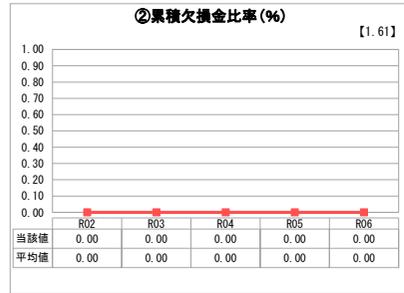
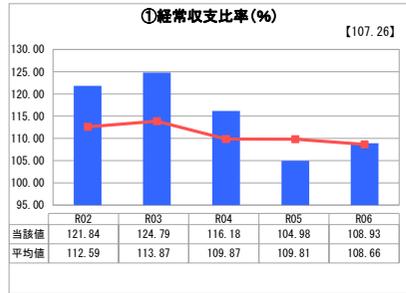
滋賀県 大津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	73.59	99.76	2,772	

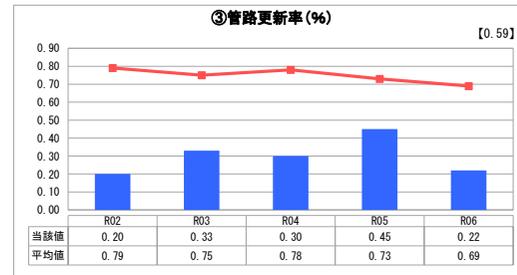
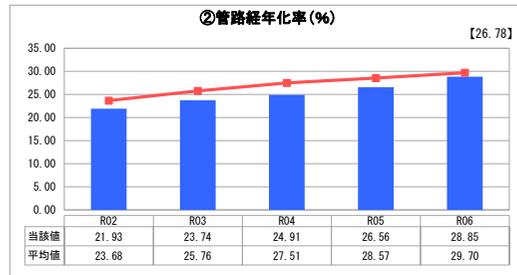
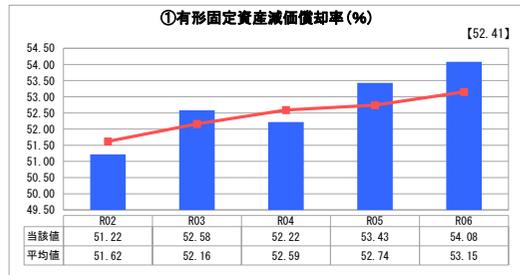
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
343,600	464.51	739.70
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
342,105	93.42	3,662.01

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率と、⑤ 料金回収率は、100%を超えて数値が高いほど良い指標です。現状、①・⑤ともに100%を上回っており、今後も状況を注視していきます。また、⑥ 給水原価は、有収水量1m<sup>3</sup>あたりの費用を表す指標で、低い方が良い状態です。おおむね横ばいで推移しています。

③ 流動比率は、短期的な支払能力を表す指標で、100%以上であることが必要です。全国平均及び類似団体平均を下回っていますが、100%を上回っており、1年以内(短期)の支払に対して十分な現金を保有しています。

④ 企業債残高対給水収益比率は、企業債残高の規模を表す指標で、低い方が良い状態です。全国平均及び類似団体平均を上回っており、おおむね横ばいで推移しています。

⑦ 施設利用率は、高い方が施設の利用状況や規模が良い状態である指標です。全国平均及び類似団体平均を下回っており、浄水場の統廃合などダウンサイジングを進めることで改善に取り組んでいます。

⑧ 有収率は、100%に近いほど施設の稼働が収益に反映されていると言える指標です。全国平均及び類似団体平均を上回っており、漏水調査の計画的な実施と古くなった水道管の計画的な更新により高水準を維持しています。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、償却資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、② 管路経年化率は、法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標であり、それぞれが資産と管路の老朽化度合を示しています。①・②ともに増加傾向を示していることから、経年化が進んでいることが分かります。

③ 管路更新率は、管路延長のうち当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標です。基幹管路を優先して更新していることもあり、全国平均及び類似団体平均よりも低い水準となっています。今後は、漏水発生時におけるお客様への影響を考慮しつつ、計画的に管路更新を実施していく必要があります。

### 全体総括

人口減少に伴い給水収益は減少傾向にあることに加えて、昨今の急激な物価高騰等の影響により水道施設の運転維持管理などに必要となる経費は増高しています。さらに、水道施設の老朽化に伴う改築・更新費用の増加が見込まれており、経営状況は一層厳しくなると想定しています。

引き続き、「湖都大津・新水道ビジョン」に基づき、経費の削減や効率的な事務運営に努めるとともに、お客様に安全安心な水道水を提供し続けることができるよう、持続可能な経営を実施していきます。